※令和３年度以前入学生用

学校番号	3006

令和５年度　工業科（建築都市工学系 都市工学専科）

教科	工業科	科目	都市工学製図	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	土木製図（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近年、CAD による設計製図が一般的になり、手書きによる作業は不必要になってきている面はあります。しかし、手描き製図を基礎としたことが理解出来ていないと、CAD 図面による製図作業もできません。実際に手を動かし写図をしながら構造物の理解や読図の技能習得を目指しましょう。「正しく書く、はっきり書く、はやく仕上げる」を意識しながら提出期限を守りましょう。

2　学習の到達目標

・製図の基礎を十分に把握させ，土木製図に関する基本的な知識と技術を習得させ，図面を正しく読み，作成する能力を養えるようにする。
・土木製図の重要性を理解し，製作図，設計図の基礎的な技術について習得する。
・手作業で図面を描くことにより、「読む力、書く力」を身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	土木製図に関する知識と技術について関心をもち，その習得に向けて意欲的に取り組むとともに，活用しようとする実践的な態度を身に付けている。	土木製図に関する基礎的な知識と技術をもとに，製図に関する諸問題を自ら思考を深め，創意工夫し適切に処理することができる。	土木製図に関する，基本的な技能・技術を身に付け，図面の内容を理解するとともに，製図を正確･明瞭・迅速に書くことができる。	ものづくりにおける製図の意義や役割を理解し，土木製図に関する各分野の基礎的な知識と技術を理解し身に付けている。
評価方法	・学習態度 （取り組む姿勢） ・出席状況	・製図課題 （提出期限・正確性・技術性）	・製図課題 （提出期限・正確性・技術性）	・製図課題 （提出期限･正確性･技術性）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	投影図・透視図	投影図・透視図の写図	○	○	○	○	a:製図に関心をもち、意欲的に取り組んでいる b:自らの思考による適切な表現 c:投影図・透視図における技能 d:投影図・透視図における基礎的知識と基礎的技術の理解	学習態度 出席状況 製図課題
2学期	設計製図	側溝の断面図の写図 橋脚の構造一般図の写図 下水管渠敷設断面図の写図	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:製図に関心をもち、意欲的に取り組んでいる b:自らの思考による適切な表現 c:設計製図における技能 d:設計製図における基礎的知識と基礎的技術の理解	学習態度 出席状況 製図課題
3学期	設計製図	鋼矢板護岸の標準断面図の写図 道路設計図の側溝・擁壁標準図の写図	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:製図に関心をもち、意欲的に取り組んでいる b:自らの思考による適切な表現 c:設計製図における技能 d:設計製図における基礎的知識と基礎的技術の理解	学習態度 出席状況 製図課題

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解